



INFORMATION SHINGO No.172



2010 (平成22年)
JULY

SHINGO

しんごう

発行/新郷村 編集/総務課 〒039-1801 青森県三戸郡新郷村大字戸来字風呂前10 ☎0178-78-2111
新郷村ホームページ <http://www.net.pref.aomori.jp/shingo/>



7月12日 「新郷 暮らしづくりを語る会」(関連記事は2ページ)

めざすぞ 日本一!

「平成22年度新郷むらづくりを語る会」が7月12日、美郷館を主会場に開催され、『きのこの里日本一になるには』をテーマに今後の村づくりの指針について関係者74名が意見交



換等を行いました。

3部構成で行われた会はず、「きのこの里づくり事業」に参加している金ヶ沢地区2チームのしいたけホダ木栽培現場を視察。ていねいな栽培管理のもと、よりよい商品出荷に向けて工夫を凝らしている生産者の姿に感心しきりのようでした。

美郷館に移動して行われた第2部の「語る会」では須藤

良美村長が「豊かな自然、豊かな観光資源を持つ本村の明るい村づくり実現にむけて本会が成功裏に終了することを期待する」と主催者あいさつ。同事業に取組んでいる「三ツ嶽喜楽会」代表高橋勝氏と「わらう会」会員の細川真理子氏により栽培活動の状況報告が行われました。

報告では対面販売を通じた顧客との深い繋がり、作業を通じた会員相互の親睦が深まったこと等をユーモアを交えながら説明。さらに活動の充実を図ることを強調しました。

同事業の出荷先でもある八戸中央青果株式会社の横町芳隆代表取締役社長が「今こそ地方の時代」と題し記念講演。横町氏は「自分たちの普段の食生活で訪れた人たちをもてなすことが肝要」と訴え、「等身大の地域の姿を観光客に体験してもらうことはリピーター増加の大きな一因」と呼びかけました。

須藤村長を座長として行われた「談義」では広い立場の出席者から意見、提案が続出。田島英男村社会福祉協議会長は「活動は高齢者の異世代との交流促進、心身の健康増進等、お年寄りが豊かな生活を送るための利点が多々ある。息の長い取組みを期待したい」と事業を高く評価。「新郷村埋蔵金伝説☆発掘探検隊」の平葭健悦隊長代行が村の原木シイタケを加工したオリジナルのストラップやネクタイピ

ンを披露しながら「地域住民の核となり村内外の人たちを巻き込みながら村の魅力を発信し続けたい」と意気込みました。これらの意見に三八県民局の堀内局長は「自分たちが楽しんで取組むことが大切。楽しさは徐々に波及し、大きな魅力の発信となる」と活動の継続に期待を込めました。「きのこの里づくり事業推進を誇りとし、元気なむらを作っていく」と生産者を代表し、前川原寛氏（金ヶ沢チーム）が誓いの言葉を述べ、2部を締めくくりました。

3部はグリーンパークに会場を移し、ふるさと活性化公社がこのたび商品化した「椎茸ウインナー」を試食。乾燥椎茸を水で戻し、豚100%の粗びき肉と合わせた香りとうまみに参加者は目を細めて舌鼓を打っていました。

終了後、須藤村長は「短い時間だったが貴重な意見、提言を頂戴できた。今後も生産者、指導的機関、行政が一体となって取組んでいく」と振り返りました。





挑戦 気分爽快 感動 悲願達成

6月27日、三ツ岳ス
ポーツクラブ設立準備
委員会（日向昌徳代表
は「新郷村×1／2周
ウォークラリー」を開
催しました。力の限り
歩き、豊かな自然を体全体で
感じることを目的とした今年
度のオープニング事業に小学
2年生から60代まで79名が参
加。69名が村内24kmを踏破し、
完歩賞を手にしました。



一行は出発式の
後、午前7時30分
に役場前を出発。
西越方面へ南下し、
平入口を経由。横
沢集落から北上し、
広域農道、国道4
54号を横断。村
道長峯・川代線を
さらに北上します。
スタートから17・
6km地点の川代小
学校で大休憩をと
り昼食や水分補給
でリフレッシュ。
強い日射しの中、
川代集落から荒巻
入口、扇ノ沢集落
を経て、午後1時
40分、役場前に
到着しました。
初の試みとなる
事業に同委員会は
5箇所のチェック
ポイントで給水サービ
スを実施し、参加者
をサポート。医療
スタッフを同行させ、
AED、救急箱等を搭
載した救護車両3台
をコース上に配備し、
不測の事態に備えて
万全を期しました。



「炎天下のもと、ひたすら
前進する参加者の姿に胸を打
たれた」とゴールを見届けた
日向会長。「いつでも誰でも
スポーツに親しめる環境づく
りを更に目指す」と活動継続
へ意欲を示しました。

君と登ろう 憧れ連れて

村は7月4日、平子沢キャンプ場内のウエストン謝恩碑前で、「第18回青森ウエストン祭」を戸来小学校緑の少年団の協力を得て開催しました。英国人宣教師で登山家でもあるウエストン卿が、明治35年の大凶作による飢饉の際、本村（当時戸来村）に義援の手を差し伸べたことに感謝の意をこめて毎年行われています。

式典ではウエストン卿と山岳遭難者へ黙とう。約120人の参加者が一人ひとり碑に献花し、追悼しました。



すすめよう リサイクル



村子ども会育成連絡協議会（田沢匡輝会長）は、循環型社会の実現を図る一環として6月20日、再利用資源回収活動を行いました。

早朝から各集落で回収をした古新聞やダンボール等が軽トラックなどで美郷館前に運ばれ、子どもから大人まで約60名が元気よく活動。大量の新聞紙やダンボール等を分別、梱包しながら、回収業者に引き渡しました。

収益金は会の活動費に充てられます。

6月14日、西越小学校では「ごみ拾い集会」を実施しました。保健委員会主導によるこの行事のめあては「西越地区をきれいにしよう。」西越三嶽神社や学区内の通学路、農村公園等の美化活動に児童34人が汗を流しました。

このうち、公民館では花だんの草取り、ホールのワックスがけ等を実施。窓ふきでは自分たちで持参したぞうきんを片手に、縦割りで編制された班ごとに力を合わせて磨いていました。

34名が美化活動



百年の歴史を体感

6月17日、せせらぎ学級（婦人学級）は秋田県小坂町「康楽館」で野外研修を開催しました。明治から平成までの歴史体感を目的に35名が参加。観劇や施設見学等で、教養と文化を高めました。

国の重要文化財に指定されているアメリカンゴシック風の芝居小屋で「劇団『悠』」による「国定忠治〜山形屋入り〜」を鑑賞。笑いあり涙ありの舞台に見入っていました。



防ごう犯罪と非行

7月7日、「社会を明るくする運動」伝達式が役場庁舎前で行われ、法務大臣メッセージが岩村隆二八戸地区保護司会副会長より、県知事メッセージが三浦智子五戸地区更生保護女性会長より須藤良美村長へ手渡されました。

運動は犯罪者の矯正及び更生保護について正しい理解を深めることを目的に昭和25年から毎年行われています。

受領後、須藤村長は「犯罪、非行のない明るい地域づくり活動を更に推進したい」と強調しました。



愛と感動の 夢舞台

村家庭教育学級（あいあい学級）は「どよう塾」と共催し、7月3日、しんごう保育園遊戯室において「親子人形劇鑑賞会」を開催しました。



今回は人形劇団「ボツケ座」（岩手県北上市）による「パンダのミルちゃん」を観劇し、豊かな情操を育むことが目的です。

森の遊園地で遊んでいるミルちゃんが美味しいパンケーキの匂いに誘われてきた意地悪なトラの

ゴンちゃん
と遭遇。母
さんパンダ、
ハイハイパ
ンダと力を
合わせて平
和な遊園地
を取り戻す
メルヘンの
世界におよ
そ100名
の観客はた
ちまち夢中。
ギターに合
わせて歌っ
たり、みん
なの力でゴ
ンちゃんを
懲らしめま
した。

プールに大歓声！



7月7日、戸来小学校3・4年生が村営プールを訪れました。今シーズン一番乗りです。

おめでとうございます

春の叙勲

このたび、平成22年春の叙勲において長根哲美さん(荒巻)が旭日双光章を受章しました。これは永年の地方自治への功績が称えられたもの。6月15日、須藤良美村長のもとを訪れた長根さんは「地域住民はもちろん、家族の協力があったからこそ」と周囲への謝意を表しました。長根さんは昭和47年7月、村議会議員に初当選。以来36年間、議員や議長として地方自治の向上に尽力されました。



生き生きとした創造性を涵養

7月13日、村教育振興協議会は新郷中学校において芸術鑑賞会を開催しました。今回は劇団「民話芸術座」(東京都豊島区)を招き、「鬼の小槌(こづち)」を187名の児童生徒が観劇しました。観劇に先立ち、行われた演劇教室での劇団員の指導のもと、児童生徒等5名が舞台の上で、ス

トレッチ、発声、滑舌などの基礎訓練を体験。音響、照明効果等の劇的要素を加え、本編の予告編ともいえる朗読劇に挑戦、発表しました。「鬼のく」は地獄に連れて行かれる危機を乗り越えて、仲間同士助け合うことや思いや



る気持ちを学ぶ物語。演劇教室に参加した鹿島佳奈子(野沢中3年)さんも舞台衣装を身にまとい村の少女「お雪」を熱演。喝采を浴びていました。終了後、佐藤直君(新郷中2年)が「素直な気持ちを伝える大切さを学びました」とお礼の言葉を述べました。

さかなたちの意外な姿に大興奮!

7月15日、高齢者教室では「修楽旅行」を実施しました。今回は八戸市の「水産科学館マリエント」と「デリー東北新聞社」の2箇所を見学。



16名の参加者は地元の魅力を再発見しました。マリエントでは3階のウミネコシアターから眺める大パノラマに大歓声。海から拓かれたまち八戸を象徴する八戸港や、美しい海岸線を息を呑んで見つめていました。この日の特別展は「夏を想わせるさかなたち展」。青い空、花火：夏を連想させる姿や色のさかなたちの姿に興味津々の様子。

なかでもデンキウナギの電気の威力を試すために行ったツリーの点灯は、電飾がついた瞬間に大きな歓声が起こりました。

続けよう! すこやか生活

6月25日、今年度6回目の「一般健康相談」が新郷温泉館で行われ、川代地区や金ヶ沢地区を中心とした高齢者およそ25名が保健師から生活健康指導を受けました。この事業は生活習慣病や介護の予防対策の一環で医療費と介護費用の効率化がねらい。

血圧測定から始まる相談は、測定値を元に、生活習慣病の早期発見の重要性を示唆。本格的な夏を迎えるにあたり水分補給の大切さ呼びかけていました。相談は睡眠障害や体重・栄養管理等、多岐にわたる内容。保健師は相談者の生活環境を考慮したうえで的確



なアドバイスしていました。「高齢者の健康への意識は徐々に高まってきている」と主任保健師。「今後も窓口や電話での健康指導を充実させ、生活機能を向上させる施策を更に推進していきたい」と事業の拡充に強い意欲を示していました。

公式球を小学校へ

このほど、サッカーボールを通じて健やかに育ってもらおうと新郷郵便局と西越郵便局では管内の小学校3校にFIFAワールドカップ公式試合球「ジャブラニ」のレプリカを贈呈しました。

6月30日には豊田孝夫新郷郵便局長が戸来小学校を訪問。

校長室で行われた贈呈式で児童代表の大瀬徹也君（6年）に手渡しました。豊田局長は「このボールで元気よくグラウンドを駆けてほしい」と笑顔を見せていました。



第8分団 2位に輝く

7月19日、五戸町小渡平公園駐車場において第22回青森県消防協会三八支部消防操法大会が行われました。消防技術の向上と士気の高揚を図り、円滑な消防活動に寄与することを目的に消防ポンプ自動車、

小型動力ポンプの2部門に管内の11分団が参加。

本村からは第8分団（滝沢和雄分団長）が消防ポンプ自動車の部に出場。日頃鍛えた技を十分に発揮した団員達は、5分団中2位という好成績を残しました。

